

## 各務原市役所にもハラスメントがある ハラスメントを根絶し、働きやすい職場を

### 市職員の

### ハラスメント根絶のための対策

ハタノこうめ議員は、市職員のハラスメント根絶の対策などについて質問しました。

ハラスメントは人権にかかわる問題です。

市の職場におけるハラスメントについては、職員の尊厳を傷つけ、職場環境の悪化を招くだけでなく、市民サービスの低下にもつながる大変重要な問題です。

パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、そして妊娠や育児に関するハラスメント行為は、相手に精神的、身体的苦痛を与え人格や尊厳を踏みにじる行為です。それは職場の職員にたいしても精神的苦痛をあたえ、職場の雰囲気悪化させ、職務にも影響を及ぼすもので、絶対に許されてはなりません。

ハタノ議員の元へ、市の職員から匿名で一通の手紙が届きました。管理職のパワハラに関する告発です。「以前から部下への強圧的な言動が多く、数多くの職員を苦しめてきたこと」等が書かれていました。

「改正労働施策総合推進法」が施行され、市もハラスメントを防止などの指針を策定しています。

ハタノこうめ議員は、杉並区では、「杉並区役所ハラスメントゼロ宣言」し、スローガンに「わたしはしない、見過ごさない」を掲げ、ハラスメント、特にパワーハラスメントの根絶に向けた取り組みをはじめたことを紹介し、各務原市は、ハラスメントのない職場づくりに向け、どのように取り組んでいくのか、その対策はどういうものかと質問しました。

市は、ハラスメント相談員4名を任命している。さらに問題が困難な場合は、ハラスメント処理委員会での調査や助言、あつせんを行うこととしている。また係長以上の管理

職員にたいしてハラスメント防止講習などを実施、特に国防職場においてはその特性に応じた研修を行っていることと答弁しました。

### すべての職員を対象に

### アンケート調査を

ハタノ議員は、市役所において、あらゆる種類のハラスメントをなくし、全ての職員が安心して自身の能力を余すことなく発揮できる職場にすることが大事であり、そのためには市役所におけるハラスメントの実態を把握することが必要があり、全ての職員を対象にしてアンケート調査を実施してはどうかと質問しました。

市は、アンケート調査については、隠れたハラスメントを見つけるには有効だが、職場の悩み事相談や健康相談などで、必要に応じてハラスメント相談員等に情報を共有して問題解決にあたる体制ができていないことからアンケート調査は、現在のとおり考えていないと答弁しました。再質問でも特段支障はおきていないと答えました。

### 様々な体制をとっていても

### 見えていない部分がある

ハタノ議員は、様々な相談体制がとられていても、現に匿名の手紙が届いており、支障が起きています。見えていない部分があることを認識すべきと主張しました

ハラスメントは個人を傷つけるだけでなく、さまざまに面で大きな損失を起こす行為であり、絶対に見逃してはならないことです。市はハラスメント行為を断じて許さず、全ての職員が互いに尊重し合える、職場環境づくり、職員一人ひとりの能力を最大限に発揮させる働きやすい職場環境を整えることが、ひいては、福祉の向上につながるものと考えますと結びました。

### 各務原民商が

### 市と交渉

### その結果 要求実現



1月19日、各務原民商が各務原市に対して「中小企業等エネルギー価格高騰対策支援事業」について申し入れを行いました。

その内の一つ、申請期間が1月31日までとなっており、まだ知らない人も多いことから期間の延長を求めました。

これに対して、市は現在もお申請や問い合わせがあることや、岐阜県の「光熱費高騰対策支援金」の申請開始を待ち、要件を見極めながら申請の判断をしようとしてされている事業者もおられることから、

申請受付期間を2月15日まで延長しました。

市の担当は、民商さんから要望をいただき、申請期間を延長しましたと述べていました。その他の要望事項については、制度の変更が必要となり、スタートしてしまっていることから困難である。100点は難しいが、要望は今後に生かしたいと言っていました。

### ハタノ談話

事業者の声を伝えて、交渉したことは説得力がありよかったですと思います。民商さんの行動力の成果です。

半端ない物価高騰が今年になってますますに拍車をかけていることから、昨年11月以降も対象になるようにすることや、7万円以下でも対象になる制度を今後求めていきたいと思っています。

